

## 「第8回 優良製品・技術表彰 2026」実施要領

### 名称

「第8回 優良製品・技術表彰 2026」

### 目的

優れた建築材料・住宅設備の製品・技術を表彰し、広く社会に発信することで、建築材料および住宅設備の品質向上と施工技術の発展を促進するとともに、建築・住宅分野における新たな価値創造と持続可能な社会の実現に寄与することを目的とする。

本表彰は、経済産業省および国土交通省の後援のもと実施する建築材料・住宅設備分野の表彰制度であり、建築分野における優れた製品・技術を広く顕彰し、その普及を通じて建築業界の発展に資することを目的とする。

### 主催

一般社団法人日本建築材料協会

### 共催

大阪建築金物卸商協同組合

### 後援（予定）

経済産業省、国土交通省

### 特別協力

一般社団法人 日本建築協会  
公益社団法人 大阪府建築士会  
公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部  
一般社団法人 大阪府建築士事務所協会

### 募集方法

当協会ホームページから所定様式をダウンロードし、応募する。

### 応募資格

一般社団法人 日本建築材料協会の会員・会員外を問わない。

### 応募料金

一次選考：無料

最終選考：55,000 円（税込）

（入賞発表・表彰式への出席 1 名分を含む。追加出席 7,000 円／人）

(建築・建材展大阪に出展していない製品・技術)

優良製品・技術表彰 最終選考展示ブース費用 77,000 円 (税込)

(幅 990mm × 奥行 490mm × 高さ 1200mm)

※展示会出展社は優良製品・技術表彰の最終選考展示ブースを無償で利用できる。

#### 提出書類締切

(一次選考資料) 2026 年 5 月 22 日必着

- ①エントリー申込書
- ②製品や技術がわかるパンフレット、カタログ、資料等

(最終選考資料) 2026 年 6 月 5 日必着

- ①応募申請書 (4 頁以内)
- ②補足資料 (技術資料、パンフレット、写真、図表等)
- ③説明動画 (3 分以内)

#### 表彰対象

建築材料・住宅設備の製品・技術、サービス、システム、またはそれらに関する取組を対象とする。  
既に市場で販売されている製品のほか、今後普及が期待される新しい技術・取組についても対象とする。

最終選考は「建築・建材展 大阪 2026」会場内の「優良製品・技術表彰 最終選考展示ブース」において実施し、対象となる製品・技術等を会場で確認できる企業を対象とする。

(最終選考日：2026 年 7 月 2 日 会場内にて公開プレゼンテーションを実施予定)

#### 表彰の種類

##### 最優秀賞

特に優れた製品・技術に対して次の賞を授与する。

- ・経済産業省 製造産業局長賞
- ・国土交通省 住宅局長賞

##### 優秀賞

優れた製品・技術に対して次の賞を授与する。

- ・日本建築協会賞
- ・大阪府建築士会賞
- ・日本建築家協会 近畿支部賞
- ・大阪府建築士事務所協会賞

##### 特別賞

審査の結果、特に特徴的で優れた製品・技術について特別賞を授与する。

#### 入賞発表・表彰式

2026年7月2日に発表し、表彰する。

#### 入賞製品・技術発表会

2026年7月23日午後（大阪市内 予定）

#### 入賞製品・技術の紹介

本表彰の受賞製品・技術は、建築・建材展大阪および当協会ホームページ、機関誌等を通じて広く紹介する。

#### 入賞製品・技術の掲載

本会が本事業の趣旨に基づき表彰した製品・技術を、機関誌またはホームページ等に掲載する場合、入賞者は当該データ等の使用を無償で認めるものとする。

#### ロゴマーク

最優秀賞、優秀賞および特別賞を受賞したものにロゴマークの使用を許可する。（使用料無償）

## 「優良製品・技術表彰 2026」

### 審査基準・審査方法

#### 審査基準

誰もが安心して暮らすことができる住生活の実現、安全で質の高い住宅・建築ストックへの更新・整備、地域の魅力を維持・向上等に資する優れた建築材料・住宅設備であるかどうかを製品・技術やサービス、システム又はそれらに関する取組の新規性・独創性、意匠性、機能性・安全性、実用性、環境負荷低減性、資源循環・持続可能性等の観点から総合的に選考する。

評価にあたっては、建築材料・住宅設備としての技術的価値だけでなく、社会的課題への貢献や建築分野への新しい提案性なども含めて総合的に評価する。

#### 審査項目

- |            |   |
|------------|---|
| 新規性・独創性    | 新しい素材・性能・構造・施工方法などにより、従来の建築材料や住宅設備に対して技術的な進歩や新しい価値をもたらしているか。特許・独自技術、他分野との融合など独創的な取組であるか。  |
| 意匠性        | 建築空間との調和や景観への配慮がなされ、建築材料・住宅設備として優れたデザイン性を有しているか。素材の質感、形状、使い方などにおいて建築的価値を高めているか。           |
| 機能性・安全性    | 材料や設備として必要な性能を十分に備え、安全性・耐久性・信頼性が確保されているか。施工性やメンテナンス性、品質管理なども含め、実際の建築物において安心して使用できるものであるか。 |
| 実用性        | 施工のしやすさ、コストバランス、市場での活用可能性などの観点から実用性が高く、建築分野において広く普及する可能性があるか。                             |
| 環境負荷低減性    | 温室効果ガス排出削減、エネルギー消費削減、汚染物質の低減など、環境負荷の低減に寄与しているか。LCA やカーボンニュートラルへの貢献なども評価対象とする。             |
| 資源循環・持続可能性 | 省資源化、長寿命化、再利用・再資源化など、資源循環型社会の実現に寄与する取組がなされているか。ライフサイクル全体を通じて持続可能性に配慮されているか。               |

## 審査方法

「優良製品・技術表彰 2026」選考委員会（以下、選考委員会）を設け審査する。

一次選考：選考委員による書類選考。

一次選考の結果については、事務局より 5 月 29 日までに連絡する。

通過者は、最終選考資料を提出すること。

最終選考：2026 年 7 月 2 日

「建築・建材展 大阪 2026」会場内の「優良製品・技術表彰 最終選考展示ブースおよび公開プレゼンテーション」にて選考する。

選考委員による審査に加え、応募製品・技術の実物または展示内容を確認するとともに、来場者および WEB による投票を参考に、総合的に評価して受賞者を決定する。

## その他

選考の必要上、さらに詳細な資料の提出を求めることがあります。

資料の作成費は応募者の負担とします。

審査は選考委員会において慎重かつ厳正に行い、その結果に基づき決定します。

また、審査対象者が利害関係にある場合、当該委員は審査に参加しないものとします。

選考委員は、審査に関して知り得た情報を第三者に漏らしてはならないものとする。

審査の経過や内容に関するお問い合わせには一切応じることはできません。

審査結果に関する異議申し立てには応じません。

優良製品・技術表彰の受賞企業が使用者等に対し人身または物的損害を生じさせた場合は当該企業の責任とし、主催者、選考委員会、後援および協力団体は何ら責任を負わないものとします。

以下の場合、応募を無効又は受賞を取り消します。

- ・表彰の目的を損なうような行為もしくは虚偽の記載等があった場合
- ・法令違反など社会通念上、ふさわしくないと判断される場合
- ・応募内容に虚偽の記載が判明した場合は、受賞後であっても受賞を取り消すことがあります。
- ・本要領に定めのない事項については、主催者の判断によるものとします。

※提出書類は電子メールで提出をお願いします。

応募申請書、特設コーナー原稿は Word データでお願いします。

パンフレットやカタログ、資料等は PDF データでお願いします。

応募申請書、補足資料は審査のために使用しそれ以外には使用しません。

説明動画は 3 分以内で作成をお願いします。（ファイル形式は MP4 のみです）

メールで容量が重く送れない場合はオンラインストレージでお送りください。

メール送信時の件名は「優良製品・技術表彰 2026」として送信ください。

説明動画を WEB で公開しない場合は、応募申請書で記入をお願いします。

「第8回 優良製品・技術表彰 2026」  
選考委員会（委員依頼中）

（敬称略）

国土交通省

経済産業省

一般社団法人日本建築協会

公益社団法人大阪府建築士会

公益社団法人日本建築家協会 近畿支部

一般社団法人大阪府建築士事務所協会

一般社団法人日本建築材料協会

大阪建築金物卸商協同組合

**提出先・問合せ先**

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-4-23 撞木橋ビル 4 階  
一般社団法人 日本建築材料協会 「優良製品・技術表彰」 宛  
<https://www.kenzai.or.jp/> 電話番号:06-6443-0345 E-mail: award@kenzai.or.jp

「第8回 優良製品・技術表彰2026」  
 (一次選考資料) エントリー申込書 (締切 2026年5月22日必着)

会社名	
ふりがな(社名)	
ホームページ	
住所	〒
	TEL FAX
担当者	部署・役職 氏名 E-mail
エントリー 製品・技術	製品・商品・技術名 _____ よみかた ( _____ ) 一般名称 _____ どんな商品なのか分かりやすい一般名称 (例：自動ドア用センサー) パンフレット、カタログ、資料等                      ページ
	「審査基準・審査方法」の審査項目で 特に評価してほしい項目 (3項目までを☑)  <input type="checkbox"/> 新規性・独創性 <input type="checkbox"/> 意匠性 <input type="checkbox"/> 機能性・安全性 <input type="checkbox"/> 実用性 <input type="checkbox"/> 環境負荷低減性 <input type="checkbox"/> 資源循環・持続可能性 <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )

(製品・技術写真添付お願いします。複数枚可)

(製品・技術 説明 350～400 字程度)

エントリーごとに応募申請書が必要です。全ての項目の記載をお願いします。枠を適宜広げてできるだけ具体的に記載し4ページ以内にまとめてください。商品・技術のパンフレット等資料がある場合は別添で提出お願いいたします。(例えば評価すべき事項で省施工であるとの記載の場合は施工マニュアル、技術資料等)

「第8回 優良製品・技術表彰2026」  
 (最終選考資料) 応募申請書 (締切2026年6月5日必着)

会社名	
ホームページ	
連絡先	〒  TEL FAX
担当者	部署・役職 氏名 E-mail 表彰当日連絡が取れる携帯番号等
入賞発表・表彰式出席予定者	部署・役職 氏名
	部署・役職 氏名
	(他 名)
建築・建材展大阪2026の出席 <input type="checkbox"/> あり(小間番号 ) <input type="checkbox"/> なし	

製品・商品・技術名	
過去受賞経験	
評価すべき事項	<u>建築基準法等の法規制の範囲と適合について</u>  <u>耐火防火、不燃、防災、VOC換気等各種認定番号取得(自主規制を含む)について</u> 例) 認定番号〇〇-〇〇 種類：国土交通大臣 認定番号〇〇-〇〇 種類：JIS、JAS 登録番号〇〇-〇〇 種類：〇〇工業会  <u>発売時期</u>  <u>類似製品・技術の有無</u>

	<p><u>下記 8 項目すべて選考対象となります。</u></p> <p><u>各項目の問いに対し具体的な詳細をご記入をお願いします。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規性・独創性</li>   <li>●意匠性</li>   <li>●機能性・安全性</li>   <li>●実用性</li>   <li>●環境負荷低減性</li>   <li>●資源循環・持続可能性</li>   <li>●標準価格（参考価格）</li>   <li>●当協会では「理想のすまいと建築を叶える 12 の配慮（Care12）」を提唱しています。<a href="https://www.kenzai.or.jp/page/wp-content/uploads/Care12.pdf">https://www.kenzai.or.jp/page/wp-content/uploads/Care12.pdf</a> 関連するような事項があればお願いいたします。</li> </ul>
--	--

説明動画

WEB で公開了承する。  WEB で公開しない。  作成していない。

(動画は 3 分以内で、ファイル形式は MP4 のみ)

最終選考用 (2026 年 7 月 2 日)

プレゼンテーションデータ (PowerPoint データ 3~5 枚)

各製品・技術の公開プレゼンを会場内で実施します。

各社 3 分程度となります。短い時間となりますので強調したい事項のみの発表となります。

6 月 11 日までに作成・提出 をお願いします。

提出日 (        月        日までに提出します)

## 応募申請書 記入例

評価すべき事項は全て記入をお願いします。

どの点で優れているのか具体的に説明をお願いします。

エビデンスがあるような事項は添付資料の提出と応募申請書にもその旨記載をお願いします。

### 新規性・独創性

「新しい素材・性能・構造・施工方法などにより、従来の建築材料や住宅設備に対して技術的な進歩や新しい価値をもたらしているか。特許・独自技術、他分野との融合など独創的な取組であるか。」

#### 記入例)

従来の〇〇に代わる製品として、〇〇を用いた〇〇構造とすることで、・・・・〇〇性や〇〇性に優れ、〇〇もそこなうことなく従来品以上の〇〇した製品です。

(添付 特許資料)

### 意匠性

「建築空間との調和や景観への配慮がなされ、建築材料・住宅設備として優れたデザイン性を有しているか。素材の質感、形状、使い方などにおいて建築的価値を高めているか。」

#### 記入例)

〇〇において、〇〇種類より選べ、施工場所・用途に応じ、・・・・・・  
周辺の景観にあう色を選べます。

また、セミオーダーでご注文できる〇〇シリーズも取りそろえ様々な場所や用途にご使用いただけます。

(添付 意匠資料)

### 機能性・安全性

「材料や設備として必要な性能を十分に備え、安全性・耐久性・信頼性が確保されているか。施工性やメンテナンス性、品質管理なども含め、実際の建築物において安心して使用できるものであるか。」

#### 記入例)

〇〇構造により、・・・・従来品より〇〇倍と安全性を確保しました。

品質性能試験においては、〇〇にて〇〇性能試験・〇〇性能試験を実施、また自社試験では〇〇性能において試験し・・・・。

(添付 試験資料)

### 実用性

「施工のしやすさ、コストバランス、市場での活用可能性などの観点から実用性が高く、建築分野において広く普及する可能性があるか。」

#### 記入例)

既存の取替え等に対応も可能で・・・も対応しました。メンテナンスもしやすく・・・・。

価格的には、〇〇に比べ（当社同等仕様比較で）15%削減しました。

施工も工期が〇〇削減できトータルコストではコストダウンも図れます。

#### 環境負荷低減性

「温室効果ガス排出削減、エネルギー消費削減、汚染物質の低減など、環境負荷の低減に寄与しているか。LCA やカーボンニュートラルへの貢献なども評価対象とする。」

##### 記入例)

製造から施工・使用に至る各段階において環境負荷・・・従来製品と比較して〇〇%エネルギー使用量を抑制すること・・・温室効果ガス排出量の削減に貢献しています。

(添付 環境評価資料 等)

#### 資源循環・持続可能性

「省資源化、長寿命化、再利用・再資源化など、資源循環型社会の実現に寄与する取組がなされているか。ライフサイクル全体を通じて持続可能性に配慮されているか。」

##### 記入例)

資源の有効活用と長期使用を前提に設計されており・・・製品寿命の延長を図っています。解体・更新時には分別しやすい構成とすることで・・・環境負荷低減を実現しています。

#### 標準価格(参考価格)

〇〇個 〇〇円、〇〇㎡ 〇〇円、同等製品と比較して〇パーセント高い、安い

#### 「Care12 について」

関連するような事項があればお願いいたします。